

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年7月14日(2022.7.14)

【公開番号】特開2021-13592(P2021-13592A)

【公開日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2021-006

【出願番号】特願2019-130305(P2019-130305)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月6日(2022.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

抽選に当選すると遊技者に特典を付与する遊技機であって、

前記抽選を行う抽選手段と、

変動エリアにて図柄の変動表示を行った後に、前記図柄を前記変動エリアに表示させることで、該抽選の結果を報知する図柄演出を行う図柄演出手段と、

前記図柄演出において、前記変動表示を再始動させることで複数回にわたる擬似的な変動表示を生じさせる擬似連を行う擬似連手段と、

前記擬似連において、前記再始動が生じた回数と前記擬似的な変動表示が生じた回数とのうちの一方を、継続回数とし、前記図柄演出において前記擬似連が行われる際に、予め定められた複数の回数のうちのいずれかを、該擬似連において許容される前記継続回数の最大値として選択し、該図柄演出が終了する前に、選択した前記最大値を報知又は示唆する選択手段と、

複数の演出モードのうち設定中の演出モードに従って演出を実行可能な演出実行手段と、所定条件が成立している場合に、前記設定中の演出モードを前記複数の演出モードのうちのいずれかに変更可能な演出モード変更手段と、を備え、

前記最大値は、前記演出モード毎に異なる選択率で最大値が選択され、

前記擬似連手段は、前記擬似連にて生じた前記継続回数が前記最大値に達したか否かにより、該擬似連が行われる前記図柄演出で結果が報知される前記抽選で当選することへの期待度を示すこと、

を特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題に鑑みてなされた請求項1に記載の遊技機は、抽選に当選すると遊技者に特典を付与し、抽選を行う抽選手段と、変動エリアにて図柄の変動表示を行った後に、図柄を変動エリアに表示させることで、該抽選の結果を報知する図柄演出を行う図柄演出手段と、

50

図柄演出において、変動表示を再始動させることで複数回にわたる擬似的な変動表示を生じさせる擬似連を行う擬似連手段と、擬似連において、再始動が生じた回数と擬似的な変動表示が生じた回数とのうちの一方を、継続回数とし、図柄演出において擬似連が行われる際に、予め定められた複数の回数のうちのいずれかを、該擬似連において許容される継続回数の最大値として選択し、該図柄演出が終了する前に、選択した最大値を報知又は示唆する選択手段と、複数の演出モードのうち設定中の演出モードに従って演出を実行可能な演出実行手段と、所定条件が成立している場合に、設定中の演出モードを複数の演出モードのうちのいずれかに変更可能な演出モード変更手段と、を備える。そして、最大値は、演出モード毎に異なる選択率で最大値が選択され、擬似連手段は、擬似連にて生じた継続回数が最大値に達したか否かにより、該擬似連が行われる図柄演出で結果が報知される抽選で当選することへの期待度を示す。

10

20

30

40

50